

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1492000060	事業の開始年月日	平成21年10月1日
		指定年月日	平成21年10月1日
法人名	株式会社ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター平塚湘南		
所在地	(〒254-0018 ) 神奈川県平塚市東真土1-1-77		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成27年2月18日	評価結果 市町村受理日	平成27年6月11日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>ニチイケアセンター平塚湘南では20歳~50歳代までの幅広い年齢層のスタッフがおります。 お客様 一人・御1人の個性を大切に、ケアに取り組んでおります。 地域住民の方々との交流もあり、お野菜やゆず、お花等頂く事もあります。 毎日、お買物に行く商店ではお客様が行けず、スタッフ1人の時でも声を掛けて頂きます。 常にお客様の可能性を信じ、過剰ではなくその人らしく生きて行く為の自立支援を心掛けています。</p>
---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8F		
訪問調査日	平成27年3月10日	評価機関 評価決定日	平成27年6月4日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p><b>【事業所の概要】</b> この事業所は、JR平塚駅からバスで約10分の表通りから少し入った住宅や店舗が混在する地域にある。周辺には農地が散在し緑が多く静かな環境である。付近一帯は坂道が少なく平坦で、利用者が歩いて行ける距離にスーパーマーケットやコンビニエンスストア、軽食店などがある。建物は、法人のグループホーム共通の仕様で、鉄筋2階建ての2ユニットとなっている。敷地は広く、1階リビング前にはテラスがあり、外気浴や日光浴などに利用できる。庭で草花や野菜を栽培しており、季節を感じたり、旬の野菜を楽しんだりできる。</p> <p><b>【職員の連携による質の高い支援】</b> 職員の年齢の幅が広く、様々な世代がコミュニケーションを密にして連携をとり、それぞれの特性を生かしてサービスを提供している。同じ法人の有料老人ホームなどから異動した職員と知識や技術を交換したり、年間計画を立てて職員研修を行ったりして総合的な介護知識を身につけている。職員研修は常に出席率が高くレベルアップの意欲が見られる。また、職員の電話やヒアリングの対応、利用者への敬意を持った接し方から、接遇の訓練が行き届いているのが見て取れた。</p> <p><b>【医療連携と看取りの実施】</b> 事業所では、往診医および看護師とは24時間の支援体制を構築して連携を密にしている。利用者との契約時には、医療連携体制加算の要件を満たす「重度化した場合における対応に係る指針」を説明している。利用者の重度化に伴い、家族・利用者との話し合いの機会を作り、意向を確認し事業所として出来る支援体制などを説明している。看取りを希望する場合は、医師、家族、事業所が話し合って同意を得て看取りを実施している。</p>
---

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ニチイケアセンター平塚湘南
ユニット名	ひまわり

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会社の理念以外にもユニットごとに理念を定め行なっている。	社是、経営理念は会議や引き継ぎ時に唱和して共有している。ユニットごとに、リーダーが職員から聞き取りして作成したサービスの理念を掲載している。職員は、理念を理解・共感し笑顔を絶やさず利用者の意思を尊重しサービスを実施している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域との交流会等のお誘いはあるがなかなか参加できていない。	自治会に加入して、どんど焼き、盆踊りに参加したり、真土祭りのお神輿が寄るのを見物している。設立時から年数を経て、近隣の住民から柚子や野菜の差し入れがあるなど地域との関係ができています。月1回ハーモニカ演奏のボランティアが来訪している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	2ヶ月に1度の運営推進会議している。地域包括支援センターの方に講師として、認知症に関する事等ミニ勉強会を実施して頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	お客様へのサービスの内容や取り組み状況の報告・事故報告・活動予定報告等行なっている。地域住民の方々からのアドバイスを頂いている。	運営推進会議の開催は年6回である。自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員、家族3～5組が参加している。地域包括支援センター職員による介護に関するミニプレゼンテーションや自治会長から地域行事案内など、事業所の報告だけに終始せず双方向的な議事内容である。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要時に行なっている。不明な所は随時確認を行なっている。	平塚市介護保険課から介護相談員が来訪し、利用者の意見や要望の聞き取りを行っている。平塚市グループホーム連絡会に加入して、2か月に1度の会合や種々の研修に参加している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていない	契約書や重要事項説明書などに身体拘束排除の方針を明記して契約時に説明している。全体会議の中でスピーチロックなど事例に基づいた研修を行っている。玄関、フロア入口とも日中は施錠していない。玄関は事務室から見守りを行い、センサーも設置している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年に1,2回高齢者の虐待防止について研修を行なっている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	まだまだ機会が少ないが今後増やしていく		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	改定の際には家族会を開き説明を行なっている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や運営推進会議や日常的なかで家族の要望を聞きだし反映させている	法人の家族アンケートで利用者、家族の意向や希望を把握している。年に1回家族会を開催して介護保険や人事について情報提供を行い、家族の意見や要望を聞き取っている。家族アンケートや外部評価アンケート、家族会で出された意見は、全体会議で対応を検討して必要に応じて実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	いつでも、スタッフからの意見を取り入れ反映している	外部評価調査の自己評価は、職員の意見をリーダーがまとめて作成した。管理者が出席する全体会議、ユニット介護、委員会などで職員は活発に発言し意見交換を行っている。事業所の補修やサービスの効率化などについて、職員の意見や提案を反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	非常勤の人には積極的にキャリアアップなど本人の能力向上に努めている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に行きやすいようにおすすめの研修を進めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	現在は、交流は行っていない		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	常に本人から要望を聞きだせるようにしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の要望は出来るだけ実現できるようにしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の身体の状態を考えマッサージ等の他サービスの利用も検討もしている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の中で本人の力を発揮していただき生活の質の向上に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員だけでは対応しきれないことは家族に協力をお願いすることもある		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今でも以前の仕事仲間が時々、本人に会いにきて下さる	馴染みの知人や友人が来訪した場合は、お茶を出すなどしている。友人が来訪し、家族も交えて外食する人もいる。送られてきた年賀状の返事を書いたり、一緒に投函したりする支援をしている。同じ美容院を継続して利用することで馴染みの関係になるなど、新たな馴染み作りにも力を入れている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いに気兼ねなく会話ができるように周りの環境に配慮している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後しばらくは関係性はあるがなかなか続かない		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望に沿えるよう食事のメニューや飲み物等、希望を聞いている	ユニットの理念に傾聴の精神を盛り込んだり、常に笑顔で話しかけるなど、利用者とのかわりを大切にして、意向や思いを把握している。利用者の様子から寂しさが見取れるときは、居室担当職員がそれとなく想いを聞き取って、家族に連絡して来訪を促すなどしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族に聞いたりして今までの生活歴の把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の1日の過ごし方など記録を通して把握している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に2回カンファレンスを行い計画作成を行なっている	介護記録にケアプランを綴じ込み、職員はプランを意識して短期目標の援助項目の実施内容を記入している。家族とのやり取りは支援経過に記載している。介護計画は担当者会議で、管理者、リーダー、居室担当などが参加してモニタリング・評価を行い、定期的または随時見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録に書いてある内容をもとにカンファレンスの議題にしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ここだけで対応できないことは他サービスと連携をしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方のボランティアの方が来てくださっている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前から継続的に診てもらっている人がいる	内科・皮膚科の協力医が月2回訪問診療を実施し、看護師が週1回来訪して健康チェックなどを行っている。以前からのかかりつけ医の受診は家族対応で、診療情報は家族から受け取っている。訪問歯科は定期往診が年1回あるほか、必要に応じて随時来診して治療している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	小さな気づきや変化を日誌に書き訪問看護さんに報告連絡し適切なアドバイスを頂いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時にはお見舞いに行き病院関係者の方と情報交換をして早期退院に努める		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	個別で話し合いを行い、家族と方針を共有して家族会で事業所として出来ることを説明している	「重度化した場合における対応に係る指針」を家族に説明し、職員にも周知している。協力医および看護師の24時間協力体制があり、職員が研修を受け看取りの体制が構築されている。家族・医師・事業所が話し合って同意を得て看取りを実施している。看取りの際に家族が泊り込んだ事例がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルに沿ってユニットごとにカンファレンスを実施している		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を実施している。水消火器を使用した訓練を実施した	防災訓練は年2回行い、夜間想定訓練も実施している。消防署による心肺蘇生、AEDの使用研修を事業所で開催している。ユニット出入口に災害発生時の具体的対応（地震発生時フロー、火災発生時フロー）を掲載している。災害備蓄は、水、食料、カセットコンロ、防災ずきん等を3日以上保有している。	自治会などを通じて、近隣住民への呼びかけを継続して、防災訓練への協力を得ることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ケア委員会を中心にグループホームだからこそ注意しなければいけない声掛けや対応チェックをし、改善につなげている。	職員は、利用者の対応について接遇研修を受けている。親しみのある態度を超えて、馴れ馴れしすぎる言動にならないように注意している。入浴・排泄介助の際に希望があればに応じて同性介助を行っている。個人情報を含む書類は、事務室内の鍵のかかるキャビネットに収納している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の中で自分自身で選択できる機会を多く持てるように努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の生活は本人のペースで生活して頂けるようにつとめ自由な時間、生活を楽しんでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	マニキュアをしたりする。訪問理容だけではなく馴染みの美容室に通っている人もいる		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは季節に合わせたメニューや入居者の方に食べたい物を聞きメニューに反映しているまた、ラーメンを食べに行くこともある。	法人栄養士の献立をもとに職員が食材を購入し調理している。給食委員会が、利用者の意向を把握しメニューのアレンジなどを行っている。利用者の嚥下、咀嚼などの状態に応じて、きざみ、とろみ、ミキサー食を提供している。利用者はたまねぎの皮むきや食器ふきなどを手伝っている。管理者が検食を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材・水分摂取量は毎日、記録で管理している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行なっている 個々に応じた対応を実施している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人、一人の排泄のリズム生活パターンを把握しトイレにお連れし安易にオムツの使用はしない	排泄チェック表で利用者ごとのパターンを把握したり、食事の前後を見計らったりしてトイレ誘導をしている。パターンのつかみ難い人は、飲食の時間や摂取量の記録から排泄のタイミングを予測している。身体状況により、やむなくオムツを使用している方には、ベッド上での処理、褥瘡予防や清潔保持に全力を上げている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の食事に乳酸菌飲料や食物繊維の豊富な食べ物や運動をして下剤の使用は少なくしている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人の体調や気分に合わせて入浴したくなる環境づくりをしている	入浴は、時間帯や回数は決めずに希望に応じている。体調や血行の状況により、清拭、シャワー浴、足浴、手浴などで対応している。お湯は1人ずつの入れ替え又はかけ流しとし、湯温は、個々の好みに合わせて変えている。菖蒲湯、柚子湯などで季節感を演出している。ヒートショック対策を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠れない時には無理に寝てもらわず話をしたりしてリラックスをしてもらう。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の副作用や用法は分かるように個人ファイルにまとめ、職員は確認をして服薬をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様の得意なこと、楽しいと感じることを継続して行なっていく		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物・散歩は声を掛けているがなかなか行けない現状がある	天候が良ければ、散歩や私物の買い物などに出かけている。調査時にも出かけている利用者がいた。歩行困難な場合や車椅子の方は、ベランダで外気浴をしたり、廊下で歩行訓練を行っている。公共交通機関、タクシーを使って遠方へ出かけることもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の希望により、お小遣いで好きなものを買っていただく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御本人様にきた郵便物が届くので渡している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の行事の写真やレクリエーションで作ったものを掲示している	共有空間はバリアフリー構造で広々としている。リビングは床暖房で採光がよく明るい。一角に小上がりの和室があり多目的に利用している。壁には利用者の塗り絵、季節の行事や外出時の写真、カレンダー、バレンタインの飾りが掲載されていた。手すりにはくぼみがあり、握りやすくなっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室やソファは自由に使える		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物をお使いいただけるようにお伝えしている。	居室は、エアコン、照明器具、クローゼット、防災カーテンなどが常備されている。利用者はベッドや寝具、タンス、テレビなど馴染みの物を持ち込んでいる。居室担当者が衣替えや清掃などを支援している。居室の表札は、楕円形の木製で、利用者ごとに好みの飾りを付けていて、自分の部屋がわかりやすくなっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立した生活を送れるように過剰にケアを行わず、自立支援を心がけている。		

事業所名	ニチイケアセンター平塚湘南
ユニット名	すずらん

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の申送りの際に必ず社是と経営理念の唱和をしており、常に念頭に入っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎日、2回近隣のスーパーへ買物へお客様と一緒に出かけている。店員さんではなく、買物のお客様からも声を掛けて頂いている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議を開催しており、包括支援センターの方が主催して下さったミニ勉強会やニチイ祭りでは、認知症についての勉強会も行なった。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	お客様へのサービス内容や取り組み状況や事故報告・活動予定報告等を行なっているが、自治会長さんや民生委員の方々に情報を頂いている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	必要時には必ず連絡をし、指示やアドバイスを頂いている。 又、市内のグループホーム連絡会に出来る限り出席し、情報の収集も行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関・ユニットの入口には、夜間以外施錠はしない事を基本としている。又、年に1回は事業所の指針もあり、研修を行なっている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議で毎年1回は、高齢者虐待防止法についての研修を行なっている。「虐待」として認識できない事があるため、年に1回以上は研修を行なう		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	運営推進会議の中で包括支援センターの方が講師となり、研修を実施して頂いた。市内での研修会にも参加する機会があった。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約時には管理者だけでなく、事務員も同伴し、時間をかけている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族様の意見や要望は事業所から、1年に1度の顧客満足度調査という事で、アンケートを本社主催で実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1年に数回の面談を実施したり、毎月の職員全体会議や毎月2回行なっているユニットカンファレンス時に意見を出し合っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員一人、1人の向上心をアップさせるように、キャリアアップ等の制度もある。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内の研修にも参加出来るシステムがあり、研修・セミナーのご案内を決まった場所に設置して、自由に見られる、申込が出来るようにしている。ユニットカンファレンスや職員会議でもお知らせのアナウンスはしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	事業所内で他のサービスの研修に参加出来るようなシステムになっている。希望者のみの参加だが、無料で行ける為職員間では好評となっている。グループホーム連絡会の研修会にも積極的に職員は参加出来るように案内している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始より、ご家族様・御本人様の意向をよく聞き、不安を取り去れるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご入居前からしっかりと話し合い、御本人様の意見やご要望をしっかりと聞き取り御家族との連携を大切に行なう。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御入居前にしっかりとアセスメントを行い御本人の課題や今必要なサービスの提案を行なっている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員はお客様お1人、お一人を共に暮らすパートナーとして考えている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、通信便りを入れている。お客様の状態やホームでの近況の様子など書いている。イベントの開催等のお知らせも入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近隣からの入居者様が多い為か、面会に来て下さったり、外食をしたりしている。スーパー等で近隣の方にお会いする事も多い。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様の間に入り、お客様同士の関係がよりよくなるように支援をしている。新しく、ご入居された方にも、十分に配慮を行なっている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された後でも、お手紙をやりとりさせて頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御本人を中心に考えている。本人の意向や要望は遠慮されている方も多いため、日常のスタッフとの会話やお客様同士の会話の中で聞き取りをする事が多い。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	お1人・お一人のアセスメントシートを作成しており、お客様の生活歴等はシートから情報を得ている。又シートは職員が自由に閲覧出来る。入居前のアセスメントも時間をかけて行なっている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎月2回のケア会議の中で今現在のお客様の状態に合わせたケアの実践が出来るように御本人の自立支援を考え、情報の共有を行い、職員全員で話あっている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御本人・御家族の希望を踏まえ職員は適切なケアが出来るように、意見交換し、自分らしく居られるようにケアプラン作成をしている。御家族にも意見を出して頂く。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のケア・業務での「ちょっとした気づき」であっても、介護記録に残し、情報の共有をしている。日々の申送りやケア会議で話し合いケアプラン作成に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	お客様の状態に合わせて、その日・その日のタイムスケジュールを変えていく。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域への行事への参加をしていたが、公民館の建て直しの為、今年度は参加が少なくなってしまった。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当ホームの提携医だけではなく、御本人やご家族様が納得された病院での対応となっている。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護が週に1回（月に4回）の訪問がある。気になる所を相談している。主治医にもほうこくしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には介護サマリーをお渡ししている。早期退院できるように、主治医との話合いに参加させていただくようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	会社としての指針はきちんとある。入居前にご説明を十分にさせて頂いている。ホームで出来る事の説明をさせて頂いている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の方に来て頂き、心肺蘇生法の講習会を実施している。又、事業所のマニュアルもある為、ユニット会議でも実施している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中・夜間を通しての避難訓練を実施をしている。運営推進会議の中でも実施したり、結果報告をしたり、意見・アドバイスを頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として対応・ケアをさせて頂いている。 「親しき仲にも礼儀あり」で、馴れ馴れしいのではなく、一線を置いた対応を心掛けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中でご要望があれば、出来る限り実現できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	全てにおいて職員の都合でのペースではなく、御本人がどう過ごしたいのか？」でが優先として考えている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月に1度の訪問理容もあるが、お客様によってはパーマをかけるお客様もいらっしゃる。馴染みの美容室にお連れしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	基本メニューはあるが、イベント食などお客様に聞き取り、取り入れている。お客様のできる範囲内で極力主体となりやって頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるように、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ミキサー・刻み・水分のトロミ等お客様個々で工夫している。水分を不足している人には寒天を手作りし、提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	誤嚥肺炎防止の為に毎食後口腔ケアの実施はしている。介助が必要な人には毎回付添い口腔ケアをその人に必要な介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	お客様に合わせたタイミングでトイレにお連れしているが立位が出来ない方にはオムツ対応させて頂いている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食材や乳酸菌飲料・おやつにはヨーグルト等を取り入れ、極力便秘薬を使わない対応を心掛けている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴はお客様のタイミングにあわせ対応している。入浴剤を入れたり、シャンプーを個々に選んでもらったりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中でも頃眠されて居る方、夜間眠れずにいた方その時、その時で職員が声掛けをし、休んで頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	理解している。毎回、トリプルチェックしながら管理・対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	長年、ご自宅で自分の役割として行なってきた事（自分の役割だと思っていた事）は継続して行なっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日の食材の買物の他に、御本人様の個別の買物等散歩と兼ねて行く事がある。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御本人の買物のご自身でお支払いして頂けるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙は自由に受けて頂いている。電話をかける場合もお手伝いさせて頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	イベントの写真や外出時・お誕生会の写真を貼りだしており、お客様同士の話題のキッカケになっている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合ったお客様同士がお互いに居室を行き来したりお1人で居室でゆっくり過ごす時間もある。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御入居の際には長年使用されていた家具や食器等お持ち頂いている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お1人、御一人が安全に出来るようなお客様主体の作りになっている。		

# 目 標 達 成 計 画

事業所名 ニチワセンター平塚湘南

作成日 2015年6月11日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		地域住民の方々が不参加の防災訓練が実施されていない	運営推進会議に行っているが、地域の方々の参加が促されていない。イベント時に開催し、地域の方にも参加して頂くように実施する	運営推進会議の地にも参加出来るようなイベントの開催日にも日程を作る	平成28年 3月31日 までに実施
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。  
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。